

小学部4年 生活単元学習 学習指導案

日時：令和3年12月3日（金）

3校時（10：30～11：15）

場所：調理室2

指導者：須藤郁子（T1） 嶽石 涼（T2）

1 単元名 「いらっしやいませ！」ハッピー♡おにぎりオープン！

2 単元の目標

- (1) お客さんに喜んでもらえるおにぎり屋を開店するために、調理・応対の簡単な技術や手順、安全面・衛生面の約束を身に付けたり、自分たちができる工夫を考え、自ら役割を果たそうとしたりする態度を養う。 (知技) (思判表)
- (2) 校内や地域の方との交流を通し、人と関わる楽しさや喜びを知って自分から相手に働き掛けようとする態度を養ったり、様々な食材などに触れたりすることで食への興味・関心を広げたりする。 (思判表) (学人)

3 児童と単元

本学年は、男子3名、女子1名からなり、男子1名は車いすを利用している。4名は人と関わることや相手に喜んでもらうことを楽しみにしており、場面や人に応じた適切な接し方については、日々の学習の中で経験を積み、理解を深め、徐々に身に付けてきているところである。

児童たちの食事に関して、食べることは好きだが、基本的なマナーについては未熟である。そこで、意欲をもって学習に臨める「食」を題材とすることで、集団の場でもルールを守り、楽しく食べられるようになるのではと考え、調理活動を行っている。4月から様々な食材や調理道具に触れ、安全面や衛生面の約束を少しずつ覚え、交流でお世話になった中学部生や母親にアイスやクッキーなどを作ってプレゼントすることで、喜んでもらう経験を重ねてきた。

本単元では、「もっと喜んでもらいたい」、「自分たちが作ったものを食べている姿が見たい」という児童の思いを受け、田植えと稲刈りを毎年行って身近なものとなっている米を生かしたおにぎり屋を開店する。おにぎり作りでは、ご飯の量や握る力を調整し、形を整え、崩さないように包むなど、これまでの経験が生かせるとともに、新たな調理の技術が得られ、具材決めや型を使うなどのアイディアも反映させやすい。また、お客さんへの応対では、人と関わるための技術の向上が図られ、直接反応を得られることでやりがいも感じられる。児童たちが意見を出し合い、協力しながら課題を解決し、感謝される経験を積むことや自ら食に関わることでさらに成長したり、意識が高まったりすると考え、本単元を設定した。

単元の目標を達成できるように、指導方法は以下の点に留意する。

- ・ 安心した気持ちで、楽しく、自信をもって開店できるように、手順表などを図や簡単な言葉で分かりやすくし、役割を固定する。また、友達同士で協力し合えるように、ペアで活動する場面を増やしたり、配置などを工夫したりし、教師は児童の動きを状況に応じて見守る。
- ・ 自分の成果や課題を理解、向上、解決していけるように、開店の練習を繰り返したり、オリジナルのマニュアルや振り返りシート、動画を活用して振り返りなどを行ったりする。
- ・ 衛生面や安全面について、身に付きつつあるところは見守り、適宜称賛して自信をもたせる。新たに必要な知識や技能は、場面を捉えて伝え、練習し、覚えられるようにする。
- ・ 調理しやすくし、見栄えや形を意識して調理できるように、おにぎりの型、デジタルスケールなどの道具を活用したり、各自のマットを敷いて調理スペースを区切ったりする。
- ・ 高等部生が作った農作物でおいしいものが作れることを発見し、製品を店で使う喜びを感じることで、感謝の気持ちをもち、関わりを深められるように、作業班と交流をする。（農園芸班・・・野菜等の提供、縫製班・・・のれんの作成、木工班・・・曲げわっぱの提供）
- ・ 地域の人と交流し、地域の料理を自分たちの調理に生かせるように交流会を実施する。

4 指導計画（総時数68時間）

小単元名	小単元の目標	主な活動内容	重点を置く 資質・能力			時 数	関連する 教科等	
			知	思	学			
ハッピー♡おにぎり① ～おにぎりについて知ろう～	<ul style="list-style-type: none"> おにぎりの作り方を理解し、技能を身に付ける。 お客さんが喜ぶ「ハッピー♡おにぎり」を目指すことが分かり、これからの学習に意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 丸や三角などおにぎりのイメージを様々な素材で表現する。 様々な具材で味を付け、手や型で握り、おにぎり作りの基本を知る。 先生から意見をもらうことで、より良いおにぎりの作り方が分かる。 	○	◎		8	生活 国語 図工	
ハッピー♡おにぎり② ～オープン準備をしよう～	<ul style="list-style-type: none"> 先輩が作っている農作物や作業製品を知り、学校の特徴や良さに気付くと共に、自分たちの「ハッピー♡おにぎりオープン」に生かそうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 高等部作業班にどのような農作物や作業製品を作っているか教えてもらい、お店に生かせるような物を選択する。 いただいた農作物を活用して「比内支援産おにぎりセット」を作り、お礼にプレゼントする。 	◎	○		7	生活 国語 自立活動	
ハッピー♡おにぎり③ ～比内支援産おにぎりセットでオープン～	<ul style="list-style-type: none"> 今まで学んだ安全や衛生に関する知識や技能を役立てて調理をする態度を養う。 「分量を正しく量る」、「正しい言葉遣いで話す」などの調理器具の使い方やお客さんへの接し方の技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生たちからの意見を生かして、より見栄えを意識したおにぎりを作る。 分量や手順を守って、比内支援産おにぎりセットを作る。 状況に合った言葉や振る舞いを覚えて、お客さんに対応する。 	○	◎		16	生活 国語 算数 自立活動	
ハッピー♡おにぎり④ ～新しいオリジナルおにぎりセットを考えよう～	<ul style="list-style-type: none"> 色々な人に関心を持ち、郷土の食について知識を広げる。 教えてもらったことを話したり、新しいおにぎりセットに生かしたいことを発表したりして、伝え合う力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方から郷土料理を教わって比内の特産物を知り、調理に生かせるようなものを考える。 自分たちで作れそうなオリジナルメニューについてアイディアを出しながら話し合い、決定する。 	◎		○	8	生活 国語 自立活動	
ハッピー♡おにぎり⑤ ～比内おにぎりセットでオープン～	<ul style="list-style-type: none"> 高等部生から学んだことや生かしたいことを自分から話すことで伝え合う力を高め、思考力を養う。 学んだことを役立てたおにぎり屋の開店を通し、身近な人々に自ら働き掛け、マナー守って行動する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 高等部生から接客について学び、工夫をしながらお客さんに対応する。 比内の特産物を使った「比内おにぎりセット」を作る。 経験を生かして、自分から役割を果たしたり、友達と協力したりする。 地域の方をおにぎり屋に招待する。 			○	◎	29 (本時 23/29)	生活 国語 算数 自立活動

5 本時の計画

(1) 本時の目標

- ・お客さんが喜ぶおにぎり屋さんにするために、学んだことや覚えたことを調理やお客さんへの応対に生かしたり、自分ができることを考えて実践したりする。(知技) (思判表)

(2) 学習過程

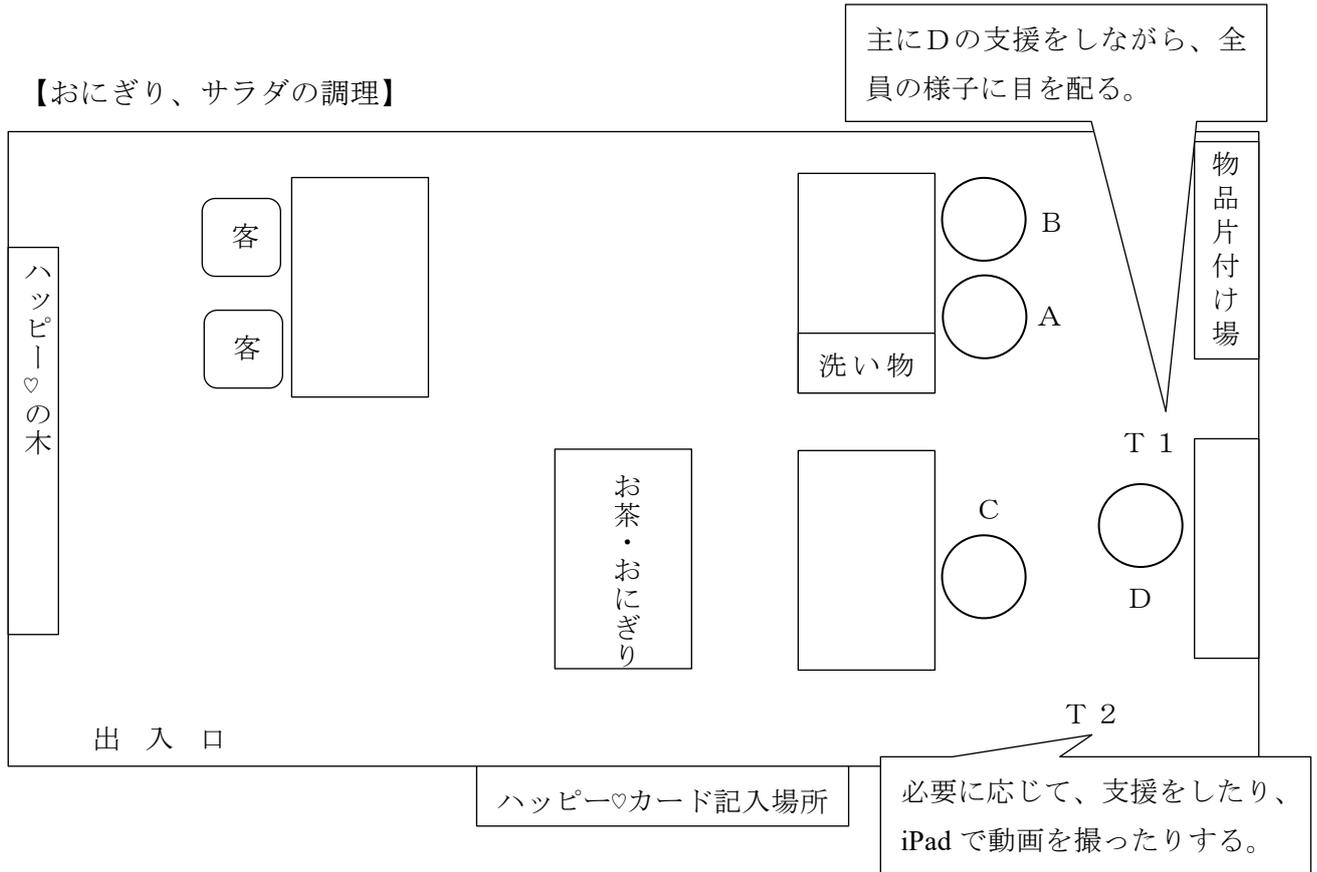
時間	学習活動	手立てと配慮点 評価
10:30 (5)	1 開店前のミーティングをし、めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを意識し、お客さんへより良い応対ができるように、マニュアルを使いながら話す練習をしたり、実際に動いてみたりする時間を設ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて おきゃくさんがハッピーになるように、はなそう、とどけよう</div>
10:35 (30)	2 お店を開店し、お客さんに喜んでもらえるような調理や応対をする。 (1) 出迎えをする。 (2) おにぎりの注文を取る。(B) (3) おにぎりとサラダを作り、配膳する。 (4) 調理台の片付けをする。 (5) お見送りをする。 (6) 全体の片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを意識し、達成できるように、どのように話したり、届けたり(配膳)すればいいかをめあての下に記載する。 ・自信がなくなったときや分からなくなったとき、間違えてしまったときには友達や教師に相談することを事前に伝え、また、安心した気持ちで精一杯活動に向かえるように、やり直しができることや報告が大切なことを伝える。 ・(B) 自信をもってはきはきと話せるように、話す内容や量を厳選し、話しやすい言い回しのメモを用意する。 ・(A) (C) ご飯(80g?) やマヨネーズ(50g?) のおおよその規定量が量れたか確認するために、量ったら報告することを約束する。(A) には、数量を意識しながら量れるよう、スプーンでご飯を盛るごとに、現在の量を確認し、グラム数を口に出すことを約束する。 ・(A) (C) 丁寧な配膳の意識付けとなるよう、皿やカップは両手で持って置くことを基本とする。 ・(D) 教師の言葉掛けを受けてスプーンや布巾に手を伸ばせるように、視線の高さの壁に物品を掛けて(貼って)おく。 ・指導・支援はT1が行い、T2は必要な場面で、最小限の支援を行ったり、動画を撮影したりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 《評価の視点》 <ul style="list-style-type: none"> ・口をしっかりと開け、伝わるように相手の顔を見てはきはきと話している。 ・こぼしたり、落としたりせずに優しい手付きで配膳や物の手渡しをしている。 </div>
11:05 (10)	3 振り返りをし、めあてを達成できたか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんからの評価が視覚的に分かるように、ハッピーカードを渡し、本時のめあてにつながる項目の評価やトータルのハッピー度数を表してもらおう。また、めあての振り返りにカードを用い、他者評価と自己評価を比べたり、動画を活用して評価の理由を考えたりする時間を設ける。 ・満足感や達成感を味わえるように、ハッピー度数分のシールを用意し、良かったところを大いに称賛する。

(3) 本時の評価

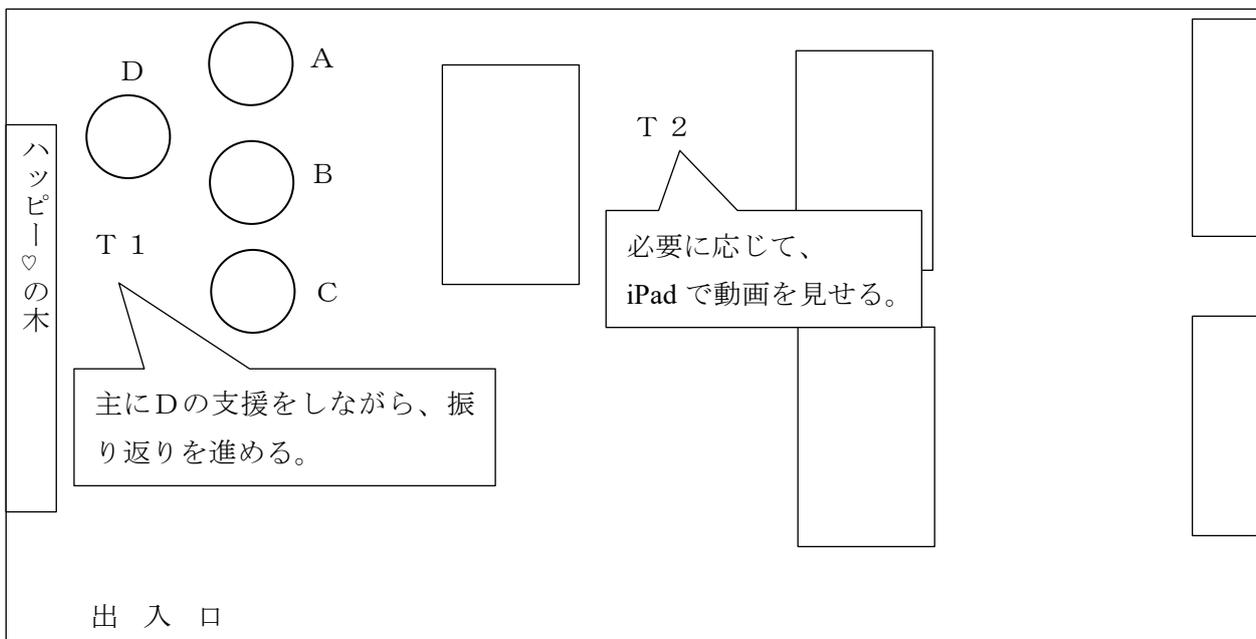
- ・児童の「お客さんに喜んでもらいたい」という意欲を「自分ができることを精一杯行う」力へつなげるための、学習活動の流れ、調理(補助)道具、役割分担などは適切だったか。

(4) 環境設定について

【おにぎり、サラダの調理】



【振り返り】



単元の目標

- (1) お客さんに喜んでもらえるおにぎり屋を開店するために、調理・応対の簡単な技術や手順、安全面・衛生面の約束を身に付けたり、自分たちができる工夫を考え、自ら役割を果たそうとしたりする態度を養う。 (知技) (思判表)
- (2) 校内や地域の方との交流を通し、人と関わる楽しさや喜びを知って自分から相手に働き掛けようとする態度を養ったり、様々な食材などに触れたりすることで食への興味・関心を広げたりする。 (思判表) (学人)

個別の目標と主な手立て

A (4年) 抽出 おにぎり	本単元の児童の実態		
	<ul style="list-style-type: none"> ・おにぎり作りの手順はおおよそ理解しており、優しい手付きで作り、ホイルで包んでいる。配膳では丁寧に置こうという意識はあるが、雑になりがちである。 ・お客さんに喜んでもらいたいという意欲があり、自分の役割を理解して積極的に関わろうとするが、来客で興奮すると、次第に気持ちや行動の制御が効かなくなり、予定外の行動をしたり、何をすべきか分からなくなったりする。 		
	本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て
	<ul style="list-style-type: none"> ・調理やお客さんとの関わり方の基本を覚え、手順通りに行ったり、場面に応じた振る舞いの技能を身に付けたりする。 (知技) (思判表) ・交流やおにぎり屋の準備、開店を通して取り入れたいことなどを考え、自分から周りに伝えたり、実践したりする。 (思判表) (学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順を守って調理をしたり、覚えたことを生かしてお客さんと関わったりする。 (知技) ・気付いたことを周囲に伝えたり、行動に移したりする。 (思判表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順を守れるように、手順表や同じ活動をしている友達の様子を見ることを適宜伝える。また、必要などきに見られるように接客マニュアルを用意する。 ・本人の自発的な気付きや動きが出るよう見守り、支援が必要な場面では、考えるためのヒントとなることを伝える。
B (4年) おにぎり	本単元の児童の実態		
	<ul style="list-style-type: none"> ・おにぎりの基本的な作り方を理解しており、自分でご飯や具材の量、握る力を調整しながら、優しい手付きで作っている。 ・お客さんへの応対では、マニュアルの記載事項や既習事項等には応じられるが、初めてのことや想定外のことへは苦手意識があり、声が小さくなることもある。 		
	本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て
	<ul style="list-style-type: none"> ・調理やお客さんとの関わり方を覚えて自信をもって行動し、分からないときには自分から教師の援助を求めたり、質問したりする力を身に付ける。(知技) (思判表) ・学習を重ねる中で、気付いたことなどを周囲に伝えたり、自分から役割を果たそうとしたりする。 (思判表) (学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんや友達と場面に合ったやり取りをしたり、そのときに必要なことを自分から行ったりする。 (知技) (思判表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもってやり取りができるように、難しい言い回しなどは事前に練習し、オーダー表やおぼんにセリフを記載する。 ・周囲へ意識が向くように、友達が困っていたら手伝うことを事前に伝え、できたときには次へつながるように称賛をする。

C (4年) サラダ	本単元の児童の実態		
	<ul style="list-style-type: none"> ・おにぎりやサラダの作り方はおおよそ理解している。興奮して気持ちの抑えが効かなくなると、手順を飛ばしたり、活動が雑になったりすることがある。 ・お客さんへの対応の仕方は分かっており、やり取りしたい気持ちは強いが、恥ずかしさや嬉しさから相手の顔が見られず、落ち着きのない行動が出るときがある。 		
	本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て
	<ul style="list-style-type: none"> ・調理やお客さんへの対応を通して、分量通り量ることや、適量を盛り付ける技能を身に付けたり、基本的な接し方を覚えたりする。(知技) ・活動や物事に見通しをもち、興味・関心を向けて自分から行動したり、関わろうとしたりする。(思判表)(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力したり、言葉を掛けたりしながら、手順を守ってサラダを作る。(知技) ・お客さんの顔を見ながら場面に合ったやり取りをする。(知技)(思判表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもってサラダが作れるように、簡略化した手順表を用意し、ポイントとなるところは目立つようにする。 ・状況を意識し、捉えられるように、注目すべきことを伝えてやれることを一緒に考えたり、できていることを具体的に伝えて自信をもたせたりする。
D (4年) サラダ	本単元の児童の実態		
	<ul style="list-style-type: none"> ・調理活動を好み、繰り返すことで自分のやるべきことを理解する。手袋、マスク(エプロン、三角巾)を身に付けることが難しいため、直接食材に触れないように袋や型を使い、得意な揉む、押すなど手を動かして調理をしている。 ・お客さんが来ることやみんなで活動することを楽しみにしており、礼をする、チケットを受け取る、物を手渡すなどして、お客さんとやり取りをしている。 		
	本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て
	<ul style="list-style-type: none"> ・調理やお客さんとやり取りする活動を通して役割を理解し、自分から手を動かすなどの活動をする。(知技) ・活動への意欲や楽しさを、自分から教師や友達、物へ手を伸ばす、視線を送る、声を出すなどの方法で表現する。(思判表)(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食材や調理器具などを見たり、友達や教師の言葉掛けを受けたりすることで、今自分がやるべきことを理解し、自分から場面に合った行動をする。(知技)(思判表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく調理できるように、ペアの友達から応援を得られるようにしたり、動きに合った称賛の言葉を掛けたりする。 ・行動や物と言葉が一致するように、動作と一緒に言葉を掛ける。また、物品が見えやすく、壁から物を剥がす得意な動作ができるよう、使う物品の一部を壁に貼っておく。

単元目標に含まれる各教科等の目標・内容

生活 P5 5 1、5 5 2 (学習指導要領解説 各教科等編 小・中)

知技：1段階

オ(イ)身の回りの人との関わり方について関心をもつこと。
カ(イ)集団の中での役割について関心をもつこと。
キ(イ)簡単な手伝いや仕事に関心をもつこと。

知技：2段階

オ(イ)身近な人との接し方などについて知ること。
カ(イ)簡単な係活動などの役割について知ること。
キ(イ)簡単な手伝いや仕事について知ること。

思判表：1段階

オ(ア)教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとする事。
カ(ア)身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとする事。
キ(ア)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとする事。

思判表：2段階

オ(ア)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする事。
カ(ア)簡単な係活動などの役割について知ること。
キ(ア)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとする事。

国語 P5 5 4、5 5 6、5 5 8 (学習指導要領解説 各教科等編 小・中)

知技：2段階

(ウ)身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。

思判表：2段階

A イ 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。
A エ 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。

算数 P5 7 8 (学習指導要領解説 各教科等編 小・中)

知技：1段階

D (ア)㊦ 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別すること。
D (ア)㊩ ある・ない、大きい・小さい、などの用語に注目して表現すること。

思判表：1段階

D (イ)㊦ 大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現すること。

自立活動 (学習指導要領解説 自立活動編 幼・小・中)

P6 7 3 人間関係の形成

(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。
(4) 集団への参加の基礎に関すること。

P7 3 4 環境の把握

(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。

P8 4 5 身体の動き

(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。

P9 2 6 コミュニケーション

(1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。

本単元の目標



- ・お客さんに喜んでもらえるおにぎり屋を開店するために、調理・応対の簡単な技術や手順、安全面・衛生面の約束を身に付けたり、自分たちができる工夫を考え、自ら役割を果たそうとしたりする態度を養う。
- ・校内や地域の方との交流を通し、人と関わる楽しさや喜びを知って自分から相手に働き掛けようとする態度を養ったり、様々な食材などに触れたりすることで食への興味・関心を広げたりする。

生活
国語
算数
自立活動

抽出児童（A）の目標に含まれる各教科等の目標・内容
 生活 P551、552（学習指導要領解説 各教科等編 小・中）
 知技：2段階

オ（イ）身近な人との接し方などについて知ること。
 カ（イ）簡単な係活動などの役割について知ること。
 キ（イ）簡単な手伝いや仕事について知ること。

思判表：2段階

オ（ア）身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする事。
 カ（ア）簡単な係活動などの役割について知ること。
 キ（ア）教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとする事。

国語 P554、556、558（学習指導要領解説 各教科等編 小・中）
 知技：2段階

（ウ）身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。

思判表：2段階

A イ 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。
 A エ 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。

算数 P578（学習指導要領解説 各教科等編 小・中）
 知技：1段階

D（ア）㊦ 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別すること。
 D（ア）㊧ ある・ない、大きい・小さい、などの用語に注目して表現すること。

思判表：1段階

D（イ）㊦ 大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現すること。



本単元の目標

・調理やお客さんとの関わり方の基本を覚え、手順通りに行ったり、場面に応じた振る舞いの技能を身に付けたりする。 （知技）（思判表）	生活 国語 算数
・交流やおにぎり屋の準備、開店を通して取り入れたいことなどを考え、自分から周りに伝えたり、実践したりする。 （思判表）（学人）	生活 国語